

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』

会長 高 島 裕
幹事 車 田 裕 介



イマジン
ロータリー

2022-23年度国際ロータリーテーマ

第1720回例会

令和4年7月21日(12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 郡部仁喜県南分区ガバナー補佐（県南分区ガバナー補佐を拝命し致しました。郡部と申します。一年間どうぞ、よろしくお願い致します。）
- 高島裕会長（県南分区ガバナー補佐 郡部様、お忙しい中本日はありがとうございます。コロナ感染者が急増し、白河市においても市長メッセージが出されました。引き続き感染対策の徹底をお願い致します。）
- 永野文雄会員（県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜様ようこそ。一年間お世話になります。藤田龍文会員、楽市白河社長就任おめでとうございます。小委員会の委員長さん、発表ご苦労様です。）
- 成井正之会員（分区ガバナー補佐 郡部様ようこそ。本年度は米山記念奨学会委員会委員長を拝命致しました。委員会の主旨を御理解の上、ご寄付をお願い致します。）
- 関谷亮一会員（県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜様、ようこそおいで下さいました。一年間お世話様になります。）
- 金田昇会員（郡部ガバナー補佐様ようこそ。今年度一年間よろしくお願ひします。）
- 運天直人会員（県南分区ガバナー補佐 郡部様ようこそ西クラブへ。とりあえずスマイル致します。）

▶第1720回例会出席状況 (R4年7月21日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	32名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	42名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	60
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	70%



▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長



皆様、こんにちは。本日第7波が迫る中、例会に多数参加していただきましてありがとうございます。今日は、まず初めにお客様をご紹介したいと思います。須賀川ぼたんロータリークラブより地区のほうに出向されておまして、県南分区ガバナー補佐であります郡部仁喜様でございます。郡部様よりは後程、5分くらいの時間をいただいて皆様にお話をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。先日、7月18日の月曜日、海の日に地区の研修委員会のセミナーがありまして、私と地区のほうに出向されておます金田研修委員と二人で参加をしましてまいりました。場所は郡山の「ユラックス熱海」でありました。午後1時からの開始だったんですが、私個人的にまさかこんなに素晴らしいお話が聞けるのかなというふうに思っていなくて、行ってびっくり研修もこういう研修だったら毎回聞いてもいいなと思うようなお話でした。講師にいられた方は、R I 2800地区のバスターガバナーの鈴木一作様という方でありまして、山形県の寒河江ロータリークラブに所属している方でありまして、眼科医の先生ということで伺っておりました。ロータリーに関するいろいろなお話、二部構成ではあったんですが、1923年にR I会長を務めたガイ・ガンディカーさんという方のロータリーについてということをお話をいただきました。この流れでいくと、ロータリーは世界的な奉仕団体ではないんですよということから始まりまして、究極の目的はロータリーでの人間性の向上による成長。そして、事業、業界、社会の向上に貢献する素晴らしい真のロータリーを育てることがロータリーの目的なのではないでしょうかということのお話がありました。そのためには、ロータリーの例会において、親睦、学び、成長、奉仕を主体としたクラブ運営が行われなければなりませんよというお話をいただきました。奉仕の原点は、世の中を良くするために自分の力を世の中に使うことなんですよということを丁寧に教えていただきました。その後、ロータリアンとしての活動におけるお話があり、個人としての活動、クラブにおける活動、業界における活動、地域住民としての活動の4つが挙げられ、その中で業界における活動の話では、会社からロータリーへ来ているという考えではなく、ロータリークラブから会社のほうに大使として派

遣されているという高い職業倫理基準を持ちながら考えるべきであり、一人の市民として地域社会、業界、所属する公共的な慈善団体において、積極的に価値のある奉仕することが目的となりますよということのお話がありました。その後、ロータリーでよくいう親睦、これはフレンドシップとフェロウシップの違いということでお話を伺いました。フレンドシップという言葉は日本語にすると親睦と思われがちですが、フレンドリーシップは親しい者同士の友情であり、フェロウシップは志を共にする仲間意識である。このことから、ロータリーにおける言葉としてふさわしい親睦はフェロウシップでありますよということがお話としてありました。普段、我々当たり前のように使っているお話だったんですが、実はこういった細かいことを聞いてみないとわからないなというような話がありまして、本当にためになる研修会でありました。最後に各クラブのロータリアンは社長をはじめとする役員さんがほとんどで、時間を自分自身で管理ができ、そのために例会へ出席している関係上、その人たちの貴重な時間を無駄にしないためにも、今日の例会に来て良かったなと思ってもらえるそんな例会を作ってほしいというようなお話があり、喜びや学びのある例会を運営して、そういった例会を心掛けてほしいというようなお話が鈴木一作様からありました。我々もそういったお話を聞いた上で、皆さんに来て良かったなと、今日の例会来て良かった、ロータリーに入ってきて良かった、そんなふうに思ってもらえるような例会運営を進めてまいりたいと思っております。また、偉い人ではなく立派な人になりましようというようなお話をいただきました。自分自身が偉いのではなく、立派だと思えるようなそういう人になって、子供たちのために、そして地域のために奉仕を尽くす。これがロータリーの最高の目的ではないのでしょうかというようなお話がありました。その後、グループごと6人から7人のグループに分かれまして、グループセッションを行いました。その後、金田バスターガバナー補佐の指示だと思んですが、抜き打ちで3人選ばれたんですが、そのうちの一人に私が入り、140人の前で発表させられるというような中身もありましたが、これも勉強の場だと思い、指摘が一つですね、マスク外して喋れというサインが送られて、ちょっとそこでまた動揺してしまったようなところもあったんですが、本当に、行けば行ったで為になる研修だったなと。これからも、こういう研修があり続けることを期待して、時間がある時にはこういった研修に、私もそうですが皆さんも進んで参加して、よくロータリーに関して理解してい

ただければなというふうに思っております。これからもちよこちよ研修など入ってくるとは思うんですが、是非皆さん研修のほうに足を向けて行けば、必ず何かしら面白いネタ、何かの為になるネタ、沢山あると思います。私も今回のこのお話を聞いて、一年前にこういった研修が受けられたらなというふうなものもありましたが、先日受けた研修、これも今からでも実践できるように取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さん一年間また引き続きよろしくお話ししたいと思います。先週の18日の研修の内容をちょっとお話しさせていただいて、会長の時間とさせていただきますが、皆様にとってより良い例会づくりを今後運営を続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお話しします。以上、簡単でございますが会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

■幹事報告

村上堅二副幹事



○ 県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜：第2回県南分区会長・幹事会のご案内

○ 地区事務所 芳賀美宝子：青少年奉仕セミナー延期のお知らせ

○ ガバナー 佐藤正道、地区研修リーダー 石黒秀司、地区・クラブ規定委員長 芳賀裕：「地区・クラブ規定委員会」セミナー開催について

2022-2023年度 県南分区ガバナー補佐

須賀川ぼたんロータリークラブ

群部仁喜様



皆様、こんにちは。今ほどご紹介いただきました、県南分区ガバナー補佐を仰せつかりました須賀川ぼたんロータリークラブ所属、群部仁喜と申します。どうぞよろしくお話しいたします。

今日は、味戸幹事が一緒にみえるはずだったんですが、今日はちょっと体調というか急用というかできましたので、今日は欠席ということでさせていただきます。お忙しい年度初めの時にお邪魔しまして、大変申し訳ございません。昨日は、白河南さんということで、同じくここに来ました。今日はちょっと時間があるので、早めに出てきて20数年ぶりですかね。南湖公園、それから南湖神社さんにちょっと回ってきました。なんか今年100周年ということらしいですね。それちょっと見させていただきまして、中目さんは今日はまだいらしてない。お休みですか。中目さん、お見えになれば、おめでとうございまして言わなきゃなんないかなと思ってました。挨拶文書いてきたので、読

まさせていただきます。白河方面のクラブ訪問は、今日で3クラブめです。昨日は白河南クラブさんにお邪魔しまして、今日はこちらということです。先程、言いましたように来る時に白河南湖神社に寄ってきまして、100周年ということでそのお祝い文も書いてたんですが、中目さんいらっしゃらないということで残念ですけども。白河西クラブさんは、会員数が多いということもあります。今年度、地区役員にガバナー補佐経験者の金田昇さんが研修委員会。それから、中目公英さんがロータリー財団。吉野敬之さんがR L I委員会。そして、十文字光信さんが青少年委員会と活躍が期待されている方がいらっしゃいます。共に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお話しいたします。さて、志賀直前ガバナーからバトンを受けて、いよいよ佐藤ガバナー年度がスタートしました。地区年度目標等については、高島会長さんよりお話があったかと思っておりますので、今日は、ガバナー補佐研修時のお話をしたいと思います。平井パストガバナーより、2840地区高崎ロータリークラブ所属パストガバナー、田中久夫氏の書かれた「ロータリークラブに入ろう」という小冊子をいただき読んでみましたので紹介をいたしたいと思っております。全ページ数が200ページくらいだったのですが、2ページくらいに渡ってガバナー補佐の心得ということで触れておりましたので、ちょっとここで読まさせていただきます。ガバナー補佐の要件。少なくとも3年以上のロータリアンであること。クラブ会長を近年務めていること。メールができる程度のコンピューター能力を備えていること。R L Iセミナーを終了していること。これまでに地区活動において、顕著な功績を残していること。以上の項目があるんですが、私もこれでない部分が結構あります。そして、最も大事なことはガバナーの目、耳、手足になること。まあ、徹するということですかね。この中に、口はないですがそれは何故か。人間は話すとしても自分の感情が移り入ります。ガバナーの発した言葉、内容が重要な意味を持つわけで、それをガバナー補佐が自分の口で口伝えすることによって、曲折して伝えられることがあるかもしれないので、注意してほしいということですね。昔から言います。口は災いのもとっていうことは、ちょっとあるかもしれませんが。それから、ガバナー補佐の役割ということですが、各クラブを定期的に訪問し、クラブ活動の進捗状況等を把握し、問題点等があればガバナーに伝え解決の方法をとる。この間、7月3日の日に、前期の地区の役員総会がありまして、そこの中で同席されました右近ガバナーエレクトが、ロータリーの章典の中に補佐

はスピーチするのが役割ではないと書いてあるという話がしてありました。それから地区委員会とクラブ委員会の間の橋渡し役となる。地区委員会の活動、セミナー等への参加を奨励する。先程、高島会長さんのお話の中にありましたが、是非参加のほうよろしくお願ひしたいと思います。他に役割、任務等ありますが、それに沿ってまいりたいと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。それから今年度、ガバナーはクラブ活性化の意味においても、特に会員構成、年齢とか女性の割合とかだと思ふんですが、それを重要視しております。今の現状。この今の白河西さんのこれだけの会員数と、それから5年後の状況はどうなってるかという話を、多分公式訪問の時にガバナーが話されると思いますので聞いていただきたいと思ひます。最後に、R I 2022-23年度ジェニファー・ジョーンズ会長のテーマ「イマジンロータリー」を会員の皆様方の心の中に置いていただき、このテーマが本年度の全ての基となり実り多い活動をしていただきたいと思ひますので、どうぞ一年間よろしくお願ひいたします。今日はありがとうございます。

前県南分区ガバナー補佐

金田昇様



皆さん、こんにちは。群部さん、ようこそいらっしゃいました。一年間、よろしくお願ひします。大変だと思ひますが、お手伝いできることがあれば何でもおっしやっただきたいと思ひます。それと地区研修委員会、先日セミナーが行われました。私も参加して、本来主催者側なんです、会長と同じように参加して良かったなというふうに思っています。今まで長い間、26年間ですか。ロータリークラブに入りまして、いろんなセミナーとか会合とかに参加しろと言われて、行きたくないな行きたくないななんて思ひながら全部参加しました。参加したセミナーで行かなきゃ良かったと思ひたやつは一つもなかったです。嫌々行ったけど、行って良かったと思ひることがほとんど100パーセントです。ですから、ロータリークラブのメンバーとして、何かセミナーあるけど行かないとか、参加してくれと言われた時には、はい、喜んでという気持ちでやっただければありがたいと思ひますので、今年、会長はじめ皆で研修していきましょう。前置きはそのくらいにしまして、本日ちょっとお時間いただいたのは、昨年一年間ガバナー補佐をさせていただきまして、分区内各クラブ会員様よりいろんな浄財をお預かりしまして、分区の予算を使ってまいりました。IMに関しま

しては、いただいた予算の全てをほとんど使い切りまして、2,000円弱残ったわけですが、それはガバナー補佐事務所のほうに雑収入として繰り入れさせていただき、ガバナー補佐事務所の経費をすべて清算しましたところ、相当の金額が余りました。これをどうしようかと。私のお小遣いにするわけにはいきませんので。と言って前例がありませんので、そのお金をどう処分していいかということに関して名言は避けたいというふうに思ひますが、私個人の一存で各クラブにそれ相当のご返金をしたいというふうに思っております。その中で、白河西ロータリークラブの部分としまして多少の金額があります。これは前年度ガバナー補佐事務所からの白河西ロータリークラブ、クラブ活動支援金という形で、スマイルとしてご寄付させていただいて、処理させていただきたいと思ひますので、ご了承いただければというふうに思ひますし、細かいことについては問い詰めないでいただきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。最終的に千円か二千円位残っちゃうと思ひますが、コーヒー代に使わせていただくことをご了承いただきまして、本日、本来なら去年の会長さんにお渡しするかなと思ひますがいらっしやいませんので、今年の会長さんのほうにお渡ししたいと思ひますのでお受け取りください。



■委員会報告

○親睦委員会

吉成真五郎副委員長



皆さん、こんにちは。親睦委員会から納涼例会のご案内をいたします。来週7月28日、18時半からになっております。場所は瀬谷ビルで、天気の良いれば屋上のビヤホールのほうで行いたいというふうに思っております。出欠が今日締め切りになっておりますので、まだ出欠を出していない方は会の終了後に私のほうにお知らせいただければと思います。最後に駐車場なんですけども、東側の臨時駐車場は、20時に施錠になるということですので、市役所の本庁の前と後ろの駐車場、こちらのほうは使用する許可を得ておりますので、こちらをご利用いただければと思います。どうぞよろしくお祈いします。

■本日のプログラム

小委員会年度計画

○青少年奉仕委員会

堀田一彦委員長



皆さん、こんにちは。青少年奉仕委員会の委員長を務めます堀田です。副委員長に、松永さん。委員に運天さんと緑川さん、4人で一年間活動して参りたいというふうに思っております。青少年奉仕委員会では、CKB野球大会の支援を軸に、青少年の健康、教育、自己開発等を支援する事業を行っていきたく思っております。CKBですが、来月8月27日土曜日と28日日曜日の2日間で今のところ開催予定です。その前の週には、青木先生を一応お呼びしてPRのほうもさせていただきたいというふうに思っております。まあ、コロナで開催できるかどうかはまだ決定というわけではありませんが、今のところ開催するという前提で動いております。また、その他にもインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、RYLAの支援というところで、7月に「八幡屋」さんのほうでRYLAの研修委員会があるということなので、白河西からは一応2名程度参加できればなというふうに思っております。

○ゴルフ愛好会

堀田一彦会長



ゴルフ愛好会のほうの事業計画を発表します。副会長に、運天さん。委員に、成井さんと前原さんの一応4名で運営していきます。ゴルフ愛好会としては、ゴルフを通じてメンバーの健康増進を図り、また親睦を深め、姉妹クラブや他団体との

楽しい交流の場にしていきたく思っております。来週の土曜日7月30日。高島・車田年度の第1回のコンペが、「白河メドウゴルフクラブ」で開催されます。これは、鈴木・須藤年度の取り切り戦でもありますので豪華な賞品がありますので、是非ご参加のほうよろしくお祈いいたします。その他に、第2回は10月から11月初旬くらいまでですかね。その間に、J C ・ Y E G の交流コンペ。それと1月の初旬に、新春初打ちコンペ。それと令和5年4月に、姉妹クラブの交流コンペができればいいなと思っております。それから、最後に6月中旬くらいに高島・車田年度の最終コンペのほうを行っていきたく思っています。また、本日新しいハンデ表をお配りしました。これは皆さんの普段の実力を普通に出せれば、優勝争いができるようなハンデとなっておりますので、新しいハンデで今年一年間一緒に交流していきたく思っております。どうぞよろしくお祈いします。

○プログラム委員会

藤田龍文委員長



皆さん、こんにちは。本年度、プログラム委員会のほうの計画書、予算書のほうを発表したいと思っております。委員長は私、藤田が務めます。そして、副委員長に石川さん。委員に、櫻岡さん、村上さんをお迎えして、4名の体制で委員会運営をしていきたく思っております。本年度、プログラム委員会では高島会長の掲げるテーマの実現を目指して、R I テーマや地区のテーマも取り入れ、会員の皆様に喜んでいただけるプログラム内容にしていきたく思っております。また、ウィズコロナとして進歩した例会構成を目指していきたく思っております。事業内容としましては、R I の月間テーマに沿った例会。そして、各委員会の担当例会。そして、会員、ゲスト卓話のタイムリーな時期に行う例会を心掛けていきたく思っております。予算のほうは、10万円計上させていただきました。本年度もよろしくお祈いいたします。

○シスター委員会

吉田充副委員長



皆さん、こんにちは。シスター委員会の年次計画ということで、委員長が須藤正樹委員長なんですけど、今日所用により欠席ということで、副委員長の私、吉田充が代理で発表させていただきます。副委員長というのはですね、今日この場で知って急にこの用紙をいただいて、あっ俺、副委員長

だったんだなって自覚がないままに今、文章を読み上げさせていただきますがご了承ください。委員会メンバーは、金田昇会員と青木大会員、合計4名でシスター委員会のほうを盛り上げていきたいと思ひます。前年度は、白河西ロータリークラブがホストのインターシティミーティングが開催され、コザロータリークラブ、深谷ノースロータリークラブの皆様に参加をいただきました。米沢中央ロータリークラブ様とは、コロナの影響で交流はできませんでしたが、今年度はゴルフや合同例会等を企画して、3年ぶりに交流を深めていきます。なお、今年度はコザロータリークラブ様とは締結20周年なので、沖縄に出向き交流を深めていきます。深谷ノースロータリークラブ様とは、例年同様行き来してきますということで、須藤正樹委員長のほうから文章を預かっております。事業内容としましては、3姉妹クラブへの表敬訪問と、3姉妹クラブ合同交流事業の実施。予算が90万というふうな金額で書かれています。シスター委員会は、対外的なその姉妹クラブさんとの交流がメインになってると思ひますので、是非多くのメンバーの方に参加していただき、交流を深めていきたいというふうに思ひます。副委員長からのお願いでございました。

○野球愛好会

吉田充監督



野球愛好会のほうから今年度の方針を伝えていきたいと思ひます。監督、吉田充。助監督、居川孝男。GM、小林義勝。キャプテン、吉野敬之。マネージャー、青木大。副マネージャー、鶴丸彰紀。会計、堀田一彦。役員を多くしてできるだけ参加人数を増やしていこうという目的で、いっぱい役員を増やしております。野球愛好会は、野球を通して各地のロータリーメンバーと交流を深めるのが、私たちの活動として今までもやってきております。これからも白河西ロータリークラブここにありという部分も含め、日本全国のロータリークラブと交流を深めるきっかけの一つにしていきたいと思ひます。また、ここ2年間、新型コロナウイルス感染症の関係で、練習や試合ができていませんでした。今年度は今現在、東北大会が開催される予定で進んでおります。また、白河西ロータリークラブが主管ということで、高島会長にはまたお世話になると思ひますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。交流が目的でございますので、大会が10月2日、前夜祭が10月1日です。場所が、泉崎のカントリービレッジで行いますので、白河西ロータリークラブ主幹として、中心メンバーが親睦委員会とシスター

委員会に担当をお願いして、前夜祭を盛り上げていただければなというふうに思ひます。私もシスター委員会の副委員長という立場上、盛り上げたいなというふうに思ひますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。こういった形で、野球部として本当に福島県で今、5チーム野球愛好会ができてます。宮城県が1チーム。山形県が2チームと岩手県が2チームあって、福島県は非常に野球の愛好会が多いクラブがあります。また、本当にこの野球を通して、各地のロータリアンと親睦を深めながら精進していきたいというふうに思ひます。まずは一番は体。老いを何とかカバーしていくためにも、続けていければなというふうに思ひます。予算は会員の愛好会のメンバーの会費を徴収させていただいて運営させていただいてるので、本会のほうからは今回大会ということで10万円の寄付をいただくような形で運営していく形になると思ひます。一年間、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○会員増強委員会

櫻岡敏之委員長



こんにちは。本年度、会員増強委員会の委員長を務めます櫻岡でございます。一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。委員会のメンバーは、副委員長に小林パスト会長。委員に、堀田会員、根本会員、合計4名で構成しております。言うまでもなく、我々の活動運営には会員数の維持、あとは向上が必要不可欠なことだと考えております。本年度は、高島会長のほうから、女性会員を4名、男性会員を2名、合計6名増やしてくれという指示を受けておりますので、何とか委員会メンバー、あとは会員の皆様のご協力やネットワークを繋げながら、6名達成に向けて一年間頑張っていきたいというふうに思ひますので、どうぞ一年間よろしくお願ひいたします。

○雑誌広報委員会

鈴木典雄委員長



皆さん、こんにちは。今年度、雑誌広報委員会委員長を務めさせていただきます鈴木でございます。よろしくお願ひします。メンバーは、副委員長に前原パスト会長。委員に、佐川会員、鈴木信教会員の4人で、月ごとに交換で「ロータリーの友」を紹介していきたいと思ひます。そこで、「ロータリーの友」はロータリークラブの会員のための雑誌ということで、RIの方針や日本ロータリー34地区のロータリークラブ、および会員活動状況や国内外における各種ロータリー情報を紹介し、ロータリー

精神の養成、ロータリー活動の発展に役立つ情報を紹介していきたいと思えます。どうぞ一年間、よろしくお願ひします。

○ロータリー財団委員会

山口治副委員長



皆さん、こんにちは。ロータリー財団委員会の年度活動計画を発表させていただきます。本来ですと、中目委員長が発表するところですが、今日は職業奉仕ということでお休みですので、原稿を預かっておりますので発表させていただきます。ロータリー財団委員会のメンバーですが、委員長が中目公英パスト会長。副委員長が山口治パスト会長。委員に、関谷亮一パスト会長、遠藤敦パスト会長と、みんながパスト会長ということで、高畠会長の思惑が見え隠れするようなメンバーかなと思っております。方針といたしまして、高畠裕会長の「想像しよう未来のロータリー 創造しようこれからのクラブ」というテーマのもと、ロータリー財団の情報をクラブメンバー全員にタイムリーに伝えてまいります。ロータリー財団は、1917年にアーチ・クランフ R I 会長が世界で良いことをしようと提唱し、基金が設置されたことに始まります。今日では、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように、クラブや地区に補助金を提供しているばかりでなく、ポリオ撲滅や災害支援や平和推進といったグローバルな活動もしています。こうした財団への理解を向上させ、財団への寄付金を募集する活動に努めます。また、ロータリー財団の計画はロータリー年度をまたいで進められますので、佐藤幸彦会長エレクトがロータリー財団の地区補助金、活動資金、DDFを活用して効果的な奉仕プロジェクトが実施できるよう今から準備に取り掛かるよう促します。ロータリー財団セミナーと補助金管理セミナー出向と覚書、MOUと補助金申請書の提出を支援し、地区財団活動資金の活用を推進します。将来的には、我がクラブが国際奉仕活動に取り組み、二か国のクラブで7つの重点分野に関わる奉仕活動を共同提唱し、長期的な国際奉仕プロジェクトを実施するために、グローバル補助金を申請できるよう今から研修研鑽に努めますということです。あと、計画があるんですけども、これちょっと長くなってしまいますので、一つだけ発表させていただきますが、ポール・ハリス・フェロー3人、ベネファクター1人、これらの寄付者を募りますということで、6月に今年度のロータリー財団委員会メンバーが集まり

まして一度打ち合わせをしまして、要は早い話が誰が寄付をするかという話だったと思うんですけど。私は副委員長ですので出す気満々でいたんですけども、私が言い出す前に関谷さんと遠藤さんが「じゃ、二人で出しますか。」というふうに話がまとまってしまいました。今のところ、中目委員長と関谷さんと遠藤さんがポール・ハリス・フェローということで寄付を出すということで、私はあぶれてしまっているんで、じゃあどうしようかなと思ってるんですけど、だったら米山をちょっと出そうかなというふうには思って成井さんには伝えてあります。以上でロータリー財団委員会の計画とさせていただきます。ありがとうございます。

○米山記念奨学会委員会

成井正之委員長



皆さん、こんにちは。2022-23年度米山奨学会の委員会の計画を発表させていただきます。委員長にわたくし、成井です。副委員長に安部和夫さん。それから、石部辰雄さん。佐藤清作さん。公益社団法人ロータリー米山奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する民間の奨学団体です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学事業を行っています。目的は、将来日本と世界とを結ぶ懸け橋になって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者になる人材を育成することにあります。ロータリーの目指す平和と国際理解の推進の理念をクラブメンバー各々に、周知、理解、徹底を図り、寄付者の増進に務めていきたいと思ひます。寄付者は今のところ一人、山口さんが確定しております。わたくしも米山出しておりませんので、二人は確定しました。もう一人は、永野先輩。お願ひします。ありがとうございます。目標を達成いたしましたので、ありがとうございます。

○スマイルボックス委員会

運天直人委員長



皆さん、こんにちは。今ほど、米山は達成したということで、スマイルも早々に達成したいなと思っておりますが、なかなかこれは一年かけてやらなきゃいけないものだと思ひて、しっかりさせていただきます。本年度、スマイルボックス委員会の委員長を仰せつかりました運天でございます。本年度、スマイルボックス委員会は、副委員長に藤田和克さん。佐藤清作さん、瀬谷隆志さんの4名で活動してまいります。スマイルやニコニコで会員様か

ら寄付を集めて、社会奉仕活動等に充当させていただきます。また、そのことを会員の皆様に認識していただくように、より多くのスマイルをいただけるように呼びかけをしております。また、西では通例、誕生日、そして結婚記念日等の御礼スマイルがございますので、そういった部分も浸透させるように皆さんに呼びかけをさせていただきます。昨年度は大住委員長のもと、146万円の結果をいただいて目標を達成ということで。本年度は私が委員長ですので、また昨年と同様皆さんにご協力とご支援をいただきまして、何とか150を達成したいと思っております。また、今年は今までなかったんですが、毎月毎月の締めを発表させていただいて、今こうなってるよという途中経過も皆様にお伝えさせていただければなと思っておりますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

○歴史文化研究愛好会

関谷亮一会長



皆さん、こんにちは。県南分区ガバナー補佐、群部様、ようこそおいでくださいました。ありがとうございます。歴史文化研究愛好会の今年度の活動ですが、昨年まで2年間あまり外部への歴史探訪というようなことができないでいたんですが。コロナが落ち着けばという考え方でいたんですが、ここに来てまた非常に密度が高くなってきたと。県内でも千人を超す状態になってきたということで。この先、様子を見ながら取り組みたいとは思いますが。この愛好会の会長にわたくし、それから副会長に、成井正之会員、宮本多可夫会員の3人で、3年連続このメンバーでやってまいりました。今年は今申し上げましたように、外部へ出て歴史探訪をやりたいということで、とりあえずは白河地区にある狛犬の石像の探訪をやってみてはどうかということで、現在計画はしておりますが。先程、申しましたようにコロナのいろんな状況を見ながら会長と相談をしながら進めていきたいと、そんなふうに思っております。よろしくお願いいたします。

○スキー愛好会

青木大副会長



佐藤会長、帰られてしまいましたので、何も預かってませんがスキー愛好会の予定をお話したいと思います。スキー愛好会、毎年2月の中旬に、米沢、山形、天童ロータリーさんと蔵王スキー場で一泊の交流をしておりました。ただ、このコロナ禍になってからなかなか泊りだというのが難しく

て、白河西ロータリークラブ単独で一泊のスキー。また、それにちなんで天童ロータリーさんが来ていただいたりとかという形で活動しておりました。今年度も多分、同じような形で進むと思うんですが、大きな目標としてコロナの状況にもよりますが、金田パスト会長がガバナーになる前に何とかカナダのウィスラーのほうで、古希のお祝いをしたいなと思っておりますので、是非皆さんもご参加いただければなというふうに思っております。

○バイク愛好会

金田昇副会長



バイク愛好会ということで、去年発足したんですが、今年も何かやりたいなと思っております。地区も含めてR Iも含めて、ポリオ撲滅のキャンペーンなんかありますので、場所によってはポリオ撲滅のための車のラリーとか、バイクのパレードとかやってる所もあったりするので、そんなのも含めて何かこうただ愛好会として遊ぶだけではなくて、ロータリーの活動の何か役に立てるような。例えば、子供たちを集めて交通安全大会をやるとか、白バイに乗ってみるとか、そんなことも含めて事業計画していくように、矢田部さんに伝えておきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

○家族交流・情報部会

村上堅二委員



皆さん、こんにちは。家族交流・情報部会のほうから、今年度の計画を発表させていただきたいと思えます。すいません。私も今日、今、委員と知ったのでなかなか難しいんですけど。会長が須藤正樹会員になります。副会長が、車田幹事。そして、委員のほうでわたくし村上。そして、大竹憂子会員という形になります。シスター委員会と協力して、姉妹クラブとの家族交流ができるような設営を行います。それから、親睦活動委員会と協力し、納涼例会やクリスマス例会に多くの家族が参加できる設営を行うということで予定をしております。一年間、よろしくお願いいたします。